

第一学年通信

No.1

東京都立大島海洋国際高等学校

2017.04.29

～ 海国12期生スタート! ～



入 学式は、あいにくの雨でしたが、12期生の高校生活が始まりました。当初は劇的な生活の変化で体調を崩す人が数名いましたが、何とか荒波を乗り越えたようです。もうすぐ、1カ月が経とうとしています。まだまだ緊張状態が続いている生徒、徐々に生活リズムが整いだした生徒など個人差はありますが、ドミトリーでの生活も含めて奮闘中です。22日には地域理解学習として南部散策を実施しました。班単位ではありますが親睦を深め、地域を実際に見ていろいろ判ったのではないのでしょうか。その時の写真を掲載してあります。

今回は初めての長期休みとなります。この数週間分の出来事を家庭で話して欲しいと思います。ぜひ、保護者の方もいろいろ尋ねていただけたらと思います。何かお子様の様子でお気づきの点がございましたらお知らせください。併せて、ゆっくり休んだり遊んだりはおかまいませんが、生活リズム(起床、就寝時間など)は一定に保つよう自制心をもって過ごしてください。連休明けの生活をスムーズに送ることができます。

さて、大島海洋国際高校では、日常の授業で、幅広い進路実現ができるように個に応じた指導を重視しています。また、乗船を通して海の上で活躍できる人を育てています。

まずは、普通教科および海洋系の授業を通して、自分に合った進路を描いてみてください。今後の帰省の際には、ご家庭でも話題に挙げていただけるとよいかと思います。長いようであっという間の3年間となります。3年後は12期生全員と保護者の皆様で感動の卒業式を迎えられればと思います。そのためにも私達学年団も一丸となり頑張っていきたいです。これから3年間、よろしくお願いいたします。

～ 第一学年団の紹介 ～

【1年A組 担任】



氏名(ひらがな)：池田 明容(いけだ あきひろ)

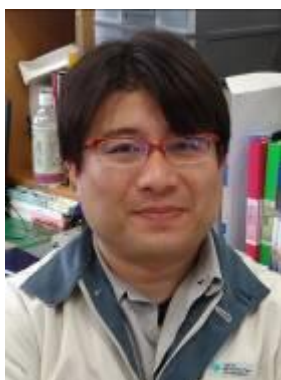
担当教科 : 地歴

部活動顧問 : 陸上部、バレーボール部

ご挨拶(一言) : 出張の度に映画館に行く(もちろん勤務時間外)のが楽しみになっています。なかなか行けないとやはり以前よりも特別な充実感を持てます。「艱難汝を玉にす」と言いますから、映画に行けない時間が、映画をさらに素晴らしいものに磨き上げたようです。「苦しいことに価値がある」という台詞を以前読んだ小説の中にも見つけました。真実とはいかないまでも中々に説得力がある言葉だと思います。

ちなみに私は年間2000キロ(月間170キロほど)走ることを自らに課し実践しています(今年で8年目)。走るのは好きではありません。なぜ続けるのか問われるならば、「苦しいから」と答えるでしょう。この苦しさが自分をさらなる高みに到達させると信じて。

【1年B組 担任】



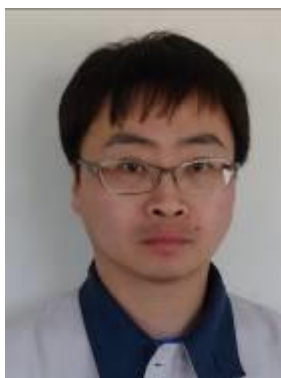
氏名(ひらがな)：磯貝 大介(いそがい だいすけ)

担当教科 : 水産

部活動顧問 : 釣り部、セーリング部

ご挨拶(一言) : 「海の怖さを知らずして海が好きだと言うなかれ、海の汚れを知らずして海が綺麗と言うなかれ」、私の心に残っている高校時代に知った言葉です。表面だけを見て物事を判断してはいけない、という意味だと後々気付きました。海国では、寮生活や学校生活を通して、他校では出来ない様々な経験を積み学ぶ事が出来ます。12期生の皆が、それらの経験を活かして、物事を深く追求できる人物に成れるように尽力したいと考えています。そして願わくば、怖さを知っても好きだと言える、汚れを知っても綺麗と言える何かを高校3年間の中で見つけてほしいと思います。

【1年A組 副担任】



氏名(ひらがな)：佐藤 真郷(さとう まさと)

担当教科 : 水産

部活動顧問 : セーリング部、潜水部、カッター部、音楽部

ご挨拶(一言) : はじめまして、1-Aの副担任を務めさせていただきます、佐藤真郷と申します。自然が豊かな伊豆大島で、仲間とともに多くのことを学び、経験し共に成長してもらえればと思います。そして、少しでも海に興味をもってもらえたらと思います。今年一年間よろしくお願いします。

【1年B組 副担任】



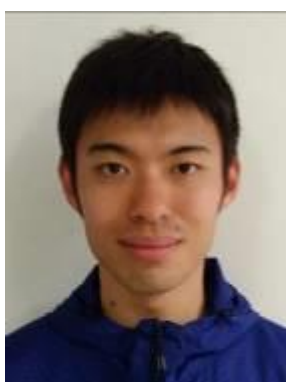
氏名(ひらがな)：廣谷 吉昭(ひろたに よしあき)

担当教科 : 数学

部活動顧問 : バスケットボール部

ご挨拶(一言) : 1-Bの副担任になりました。廣谷です。自分も海国1年目なので皆さんと同じ気持ちで頑張っていきたいと思います。まずは顔と名前を一致させるのが当面の目標なのでよろしくお願いします。

【寄宿舍 ハウスマスター】



氏名(ひらがな)：山田 啓介(やまだ けいすけ)

担当 : (地理歴史) HM

部活動顧問 : 陸上競技部

ご挨拶(一言) : ドミトリ生活が始まって一か月が経とうとしています。生活には慣れたでしょうか。日々先輩たちからドミトリ生活の基本を教えてもらい、必死についていこうとする1年生の姿を見ている。その緊張を切らず、立派なドミトリ生になれるよう一日一日を大事にしてください。気が抜けたり、集中力が切れたりした時に大きな失敗は起こります。私は、去年一年間の目標にしていた大事な大会で1位を取れず、非常に悔しい思いをしました。初心に戻り、毎回の練習・日々の生活にもっと緊張感を持たなければと痛感した瞬間でした。

【第一学年 学年主任】



氏名(ひらがな)：平塚 正彦(ひらつか まさひこ)

担当教科 : 水産

部活動顧問 : カッター部、郷土芸能部、潜水部

ご挨拶 : 昨年度は広報担当として皆さんにお話しさせていただくことが多々ありました。皆さんに御理解いただき、受検していただいたことに、感謝しております。お陰様で落ち着いた学年のスタートが切れております。

さて、私は東京の東久留米市で育ちました。小学生の時に魚の飼育・観察が好きで、何時間も水槽を見ていたところ、魚の大学があるよと東京水産大学を教えてくださいました。そして小学校3年の時から、将来は魚の心理学を研究したいと魚の大学に入ることを志しておりました。大島南高校への入学

も考えましたが、もう廃校となった清瀬東高校へ入学しました。水泳部と理科部に在籍し、生徒会にも係り、勉強はしていたつもりでしたが、一浪して東京水産大学に入学しました。現役時代は海洋汚染真っ盛りで、海洋環境を学科を志望しましたが、浪人中に魚の心理学を勉強したいことを思い返しました。今と違って大学の情報などなかなかなかったので「魚の心理学」なんてあるのかすら判りませんでした。増殖学科・養殖学科を第一・第二志望にし、落ちたら困るので第三希望に漁業生産学科にしたのでした。第三希望で入った大学の学部も、「漁業」という文字に失望感を持ちました。2日目のガイダンスで、漁業科の中に魚法学という分野があり、夢がかなったことが判りました。

皆さんも早いうちからやりたいこと・好きなことを考えて進路を決めてください。

【連休明けの提出物及び連絡事項】

- ① 6月面談希望アンケート（回答）・・・・・・提出締切り 5/8（月）
- ② 乗船時に必要な持ち物については、生徒達に連絡済み（プリントにて配布済み）ですが、一斉帰舎前に、再度、乗船で必要な持ち物を忘れていないかお声掛けお願いいたします。
- ③ 水産海洋基礎では5月下旬よりスキndaイビング実習が開始になります。
水着（サーフパンツ不可）を忘れないようお願いいたします。

～ 大島南部散策（4/22） 波浮港の各所を班単位で回りました～



～人が想像する事は、必ず人が実現できる～



フランスが産んだサイエンス・フィクション(SF)の開祖、SFの父ジュール・ベルヌの言葉です。海底二万里や十五少年漂流記、月世界へ行く等、夢中で読んだ記憶があります。十五少年漂流記は寄宿学校の生徒達が主人公、ジュール・ベルヌの少年時代の夢は船員になることで、実際に見習い船員として船に乗った経験もある様です。何かシンパシーを感じてしまいます。残念ながら父親に反対され、ベルヌ少年の夢は潰えてしまいましたが、父親に「冒険をするのは空想だけに」と約束したそうです(逸話)。

さて、冒頭で紹介したベルヌ氏の言葉ですが、誤解が無い様に一手間加えてみたいと思います。「人が想像する事は、必ず人が実現できる(ただし、努力をした場合に限る)」。海底二万里で描かれた潜水艦(ノーチラス号)は30年後に実現し、月世界へ行くで描かれた宇宙船(巨大な砲弾)は100年後に実現しましたが、これらを実現するためには想像を絶する挫折と努力があったはずで

12期生の皆さんはどうでしょうか?「こうありたいと願う自分」を実現するための努力をしているでしょうか?努力しているとして、その努力は足りているでしょうか?1つの目安が「考査」です。自身の夢を叶えるに足りない結果だった人は、残念ながら「努力が足りなかった」と言えます。努力の必要量は人それぞれです。1努力で達成できる人もいれば、10努力しなければ達成できない人もいます。今回の考査で「自分がどれだけ努力すれば良いのか?」が少なからず実感できたのではないのでしょうか?実感できていれば、結果はどうあれ、今回の考査には意味があったと思います。

1年生の第1回考査とは言え、進路活動には1年から3年まで全ての成績が関係して来る事を考えれば、決して無駄には出来ません。今回の考査で得た事を次回以降の考査で活かし、自身の将来の希望を実現させて下さい。

(第1学年B組担任 磯貝大介)

～ブルーハーツやソクラテス～

学級日誌を毎日確認する中で、授業の感想の欄に「つまらなかった」・「集中できなかった」・「眠かった」等の言葉を見る機会が多々あります。数ある科目の中で全てに興味を持って取り組むのはなかなか難しいことかもしれません。

実は教員にも心進まぬあれやこれがあります。初任者研修に始まり、二年次・三年次研修や各種の研修が私の場合はそれに当たります。ただ、いつも私が心がけていることは、“どうせ” その場にいなければならないのなら、できるだけその時間を有意義にしようとする事です。はっきり言ってそれほど興味のそそられない内容でも講師の一言一句に耳を立て、資料の隅々まで目を通し、参加者の一挙手一投足に注意を払う。そうして様々なことをメモに取り、疑問があれば質問したり後で調べてみたり・・・

そう、ブルーハーツも歌っています。♪悲しみが多すぎて泣いてばかりいたって何にも見えなくなっちゃうよ♪と。辛いこと・苦しいこと・嫌なことに目を向ければ確かにそれらは巨大で、押しつぶされそうになるかもしれませんが、一方でまた喜びや幸せも地球全体を包み込んで有り余るほどにあるものです。♪でたらめばかりだって耳を塞いでいたって何にも聞こえなくなっちゃう♪前に、心のハンマーで弱い自分を懲らしめてみてはいかがでしょう。ソクラテスも言いました。「ただ生きるより善く生きよ」と。ただチーズを食べるよりも海苔をひと巻きすると絶品です。

(第1学年A組担任 池田明容)

【連休明けの提出物及び連絡事項】

①遠足同意書：御一読頂き同意書にサインを御願ひ致します。

②夏季研修について

7月24日(月) 午前：千鳥ヶ淵戦没者墓苑、科学技術館の見学

午後：しょうけい館、昭和館の見学

7月25日(火) 海洋研究開発機構の見学(午前：A組 午後：B組)

※詳細な時程・行程・同意書は、後日郵送にて各御家庭に送らせて頂きます。

※島嶼在住の生徒につきましては、都内に親戚等の宿泊場所が無い場合は、御一報を御願ひ致します。

第一学年通信

No.3

2017・7・21

東京都立大島海洋国際高等学校

部活動加入率100% (6月15日現在)

各部の写真と意気込みを各部員に書いてもらいました。



釣り部
二次元の話になると夢中になっちゃう人とか、いつもニコニコ魚大好きっ子とか、いろいろありますが、皆釣りが好きなのです。さあ今日はどんな魚を釣ろうかな〜♪



バスケットボール部
みんなで力を合わせて頑張ります！

音楽部
がんばります！！



カッター部
今年は人数も多く、団結したら誰にも止められない！レギュラー争いもあるけれど、私たちは「家族」お互いが励まし合い、切磋琢磨していこう！



他にボランティア部、水泳部、バレーボール部、生物部がありますが、一年生は所属していません。

テニス部
都大会で1勝する。



野球部
みんなで力を合わせて頑張ります！



遠足について

7月10日(月)、第一学年は三原山のお鉢めぐりを実施しました。大島では今年になってから地震が多い時期もあり、噴火の兆候ではないかと懸念があり、実施について慎重に情報収集しました。当日は大島町役場災害対策本部から「噴火の心配は無い」との情報を得て決行しました。野球部の諸君は東京都の大会で参加できませんでした。



学校周辺からは山頂が雲で覆われており、登山が心配でしたが集合写真を撮るころより山頂が見え始めました。10時前に出発し、お鉢巡りをして温泉ホテルに向かいました。過去には一回も山に登らず卒業していく学年もありましたので、実施できて良かったです。温泉ホテルで昼食をとり、温泉に入浴しました。

WBG(Water Boy's and Girl's 選手権大会)

体育の水泳と海洋のダイビングの内容を合わせた大会です。今回で7回目になります。例年、一年生はあまり目立たなかったように感じていましたが、各レースにおいて上位でゴールするなど存在感を発揮していました。フリッパーリレー(フィンをつけ表面を早く泳ぐリレー)では、3年チーム



と競り合い、1Aチームが2位でゴールしたものの、3年生チームがフィンが脱落していたことで失格となり、繰り上がり1位となりました。総合ではB組連合が優勝となりましたが、中でも1年B組がクラス対抗で準優勝となりました。

運営面でも運動委員・潜水部が中心となりスムーズな大会となりました。



スマートフォン

入学当初からスマートフォンの使用に関しては常々注意してきましたが、未だに使用状況の改善は見られません。残念です。

スマートフォンの使用時間と学力は反比例すると種々の研究結果で明らかとなっている昨今、それでも君たちはまだ、それに固執しますか。何をしていますか。そんなに大事な情報ですか。スマートフォンがなければ人生終わりますか。

答えは「否」です。ゴンドアの谷の歌にこうあります。“土に根を下ろし風と共に生きよう。種と共に冬を越え鳥と共に春を謳おう。”あくまでも我々は現実の中で生活しています。存在の不確かな情報に踊らされるようでは余りにも虚しい。学力だけの話ではなく、人生の豊かさについてももう少し真摯になるべきです。

七夕の短冊には「スマホのない世界になりますように」と私は書きました。今私の願い事が叶うならば翼が欲しい、その翼でスマホのない世界に飛んで行きたい心持です。

【池田明容先生】

人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵ない

戦国最強の騎馬隊を率いた武田軍総大将、甲斐の虎こと武田信玄晴信の言葉です。自分の父親を追放してみたり、息子を謀反の罪で切腹させたりと戦国武将らしく信玄公にも非情な一面があります。しかし、面白い事に信玄公は領民からは慕われ、配下からも恐怖では無く信頼を寄せられていたと言います。理由は簡単、冒頭で紹介した言葉を心情としていたからです。「仇」となるような言動は敵を作ってしまう、「情け」を持って人に接すれば信頼が生まれる。そうして出来た信頼は、「城と成り」「石垣と成り」「堀と成り」国と国民を守る絆となる。信玄公はこの言葉が示す様に、城を持たず躑躅ヶ崎館（つづじがさきやかた）を拠点として、周囲に臣下の武将を住まわせていました。他の武将とは一味違う魅力が有りますね。

さて、今回紹介した言葉ですが、信玄公が生きた時代に限った言葉でしょうか？君達には関係のない言葉でしょうか？400年以上前の言葉ですが、むしろ君たちの為にある言葉と言っても過言ではありません。12期生の皆は、ドミヤ学校で良い人間関係を築けていますか？そこに信頼関係は有りますか？どんな人とでも信頼関係は結べます、何て事は言いませんが、「ちょっとした気遣いや心配り」で良い人間関係が成り立つのならば、それを実行しない手は無いと思います。寮生活を送っている皆ならば尚更です。

良い人間関係を築ければ、同時に良い学校生活・寮生活が送れます。そしてそれは、例えば進路活動において、君達自身の「PRポイント」に成り、モチベーションに成り、勉強に集中できる環境に成ります。良い人間関係が築けなかった場合は・・・、わざわざ言う必要も有りませんね。夏休み明けに再び1からの出発に成らない様に、ここまでの自らの生活を振り返って見て下さい。

【磯貝大介先生】

夏季研修

7月24日に国立戦没者墓苑と科学技術館、25日に海洋研究開発機構横須賀本部を訪問します。平和についての意識を高めるとともに、最先端の科学技術に触れて進路選択の一助として欲しいと思います。移動時間等で相互の親睦も深めてください。



潜水部

人数が多いので、みんなで協力・団結して頑張りたいです！オー！



吹奏楽部
楽曲を全部完璧にする！



郷土芸能部
がんばりまーす!!



陸上部
1500m
4分20秒台
5000m
16分台
を目指して頑
張ります！

サッカー部
予選突破！



セーリング部
みんなで“切磋琢
磨”し合い、男子
女子共に「インター
ハイ」「国体」目指
して頑張ります！



合宿について

学校の合宿は7月26日から8月6日までと8月26日から8月31日までの2回を設定してあります。その間に何日間実施するかは各部活で違います。その他に遠征があったり、都内で練習試合が予定されたりしますので、よろしくお願ひします。

夏季研修



7月24日に千鳥ヶ淵戦没者墓苑と科学技術館、25日に海洋研究開発機構横須賀本部を訪問しました。千鳥ヶ淵戦没者墓苑は海外で無くなった日本兵の遺骨が安置されている場所です。入口にある外国での戦死者の数に70年前の大変さを感じ、代表者が献花し黙とうしました。

25日はクラス別に午前・午後に分かれ見学しました。かなり余裕を持って集合時間を設定したつもりでしたが、遅刻者が3名出てしまいました。以前は大島丸の基礎航海中に見学していたのですが、ここ数年訪問できていませんでした。久しぶりに見学でき、海洋研究の最先端に何か感じてくれれば幸いです。

留学生

アメリカのカリフォルニア州より半年の留学で来日したセステさんです。9月よりA組に入りました。両親は先生で、大学生で19歳のお兄さんがいらっしゃいます。

以前、京都に来たことがありました。日本語勉強中です。家の近くに大きな水族館があり、海洋生物が好きです。

10月からカッター部に入る予定です。

海外の人が日本語を勉強することは非常に大変です。セステさんはひらがなの読み書きができます。でも、これからどんどん日本語が上達して、行く速度に皆さんは驚かされることになると思います。そして自分の英語の進歩と比べると恥ずかしいと思う人が多くなると思います。

また、皆さんのために、片言の英語を使ってコミュニケーションをとって、語学力を高めて行って欲しいです。



新島オープンウォータ 今井さん入賞



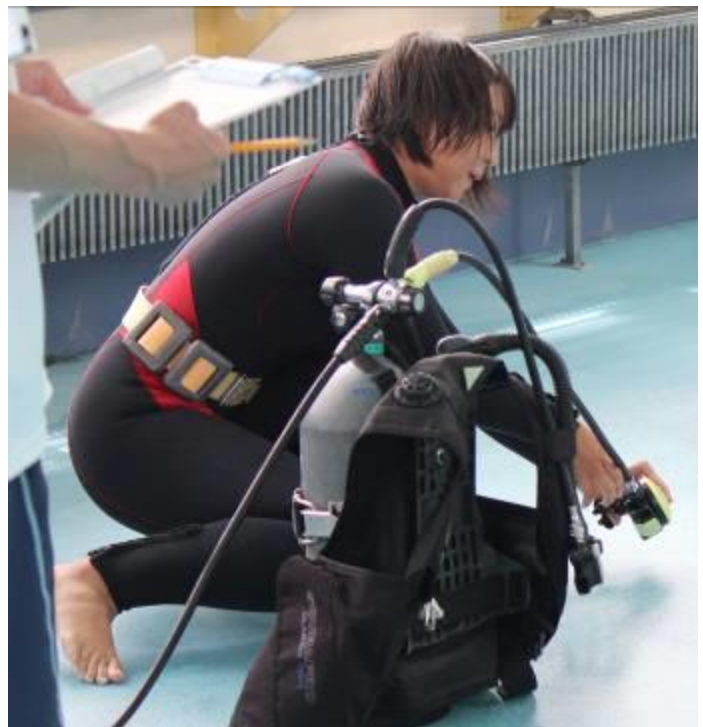
7月に行われた第23回新島オープンウォータースイミング大会に潜水部で出場し、今井さんが6位入賞しました。

潜水部全国大会 水橋さん出場

8月に秋田県で行われた第20回全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテストに出場しました。2年生の岩本さんとコンビを組み、機材のセッティングで新記録で1位、ダイビングレスキューで2位となりました。そして総合で女子の部3位となりました。

水橋さんの感想です。

「大会前は不安でしたが、練習してうちに自信が持てるようになり、全力で大会に取り組むことが出来ました。良い結果を残せて良かったです。これからの練習に力を入れて来年も出場できるように頑張ります。」



1A 海国祭



かき氷販売をしました。唯一の食品団体ということで、教室の清掃を徹底して行いました。初めてみんなで協力する行事だったので、最初はまとまらなかったのに、だんだんまとまりが出てきました。初日寒

かったのに大勢お客さんが来てくれて嬉しかったです。

[川口サラ]

1B 海国祭

縁日をやりました。みんなで協力することの大変さや、みんなをまとめることの大変さが判りました。準備するときに、みんなにどんどん指示をだ



せたら良かったのに、自分のことに精一杯になってしまいました。お客さんが大勢来てくれてうれしかったです。 [菊田幸希]

英語検定合格

準2級 中嶋夏一 長濱ひらり 林叶太

3級 池上駿太郎 杉田洋人 鈴木春喬 棚瀬愉与

漢字検定合格

準2級 林叶太 藤井開 江坂和歌

3級 石田由楽 須藤俊一 山田宙飛 中田航輝

第二回考査成績上位者番付

	横綱	大関		横綱	大関
国語総合 (現代文)	原島翔大 前田弦己	市之瀬瑞季 杉浦大地 林玄冬	保健	藤田開	前田弦己 安田隼人
国語総合 (古典)	藤田開	須藤駿一 前田弦己	音楽	江坂和歌 林玄冬	児玉蓮
現代社会	藤田開 小澤涼雅	石津遼雅 林叶太	総合英語(G)	林叶太 藤田開	池上駿太郎 下村和美 林玄冬 前田弦己
数学 I	藤田開	田島雅人	総合英語(R)	藤田開	林叶太
数学 A	安田隼人	小澤涼雅	異文化理解	藤田開	岡結菜
生物基礎	藤田開	林叶太	水産海洋基礎	藤田開	前田弦己

基礎航海 10月2日より始まります。同意書の提出をお願いします。忘れ物をしないように！

宿泊防災 2次航海の人は出られませんが、予定通り実施します。

クラスTシャツ

どちらも個性的なものになりました



前期を終えて思うこと

[池田先生より]

細かなことを毎日繰り返し言っていますが、物事の明暗を分けるのはほんの微小な差です。

先日我が家のつかえ棒が落ちました。もう一度取り付けようとしたがうまくいきません。そこで紙を一枚挟み込むと、以前にもまして強力につかえました。まさに、“動かざること山のごとし”といった具合でした。

紙一枚で私の場合はうまくいきましたが、逆に紙一枚で泣きを見たとしたらどうでしょう。あんまりといえはあんまり、泣くに泣けません。

万事にもう少しずつ、緻密さ、丁寧さ、細やかさを求めます。

なせば成る、なさねば成らぬ何事も、成らぬは人の、なさぬなりけり

[磯貝先生より]

江戸時代屈指の名君、米沢藩第9代藩主「上杉鷹山」の言葉です。17歳と言う若さで(12期生とほとんど変わらない年齢ですね)藩主と成り、借金だらけの米沢藩を見事に立ち直らせた稀代の名君です。自ら率先して質素儉約を旨とした生活を送り、数々の改革を行いました。全国で約30万人の餓死者が出た天保の大飢饉でも、鷹山公の采配により米沢藩は1人の餓死者も出さなかったと言うのだから驚きです。「かてももの」と言う食べられる野草図鑑を飢饉に備えて準備していたそうです。「やれば出来る、やらなければ何も出来ない、出来ないのはやろうとしないからだ」、改革を成し遂げた鷹山公らしい言葉ですね。

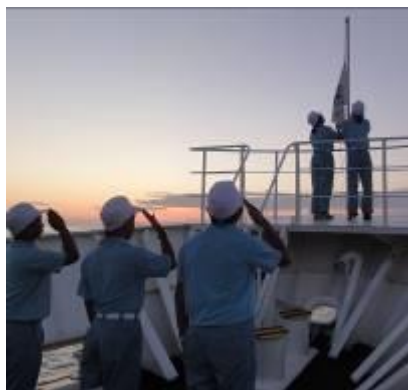
海国祭も無事に終わり、学校も後期に突入します。後期は「乗船実習」「1年生の成績が確定して行く第3・4・5回考査」「類型選択」と、前期とは違い「成績や進路に関わる行事」が目白押しです。何となくでしか考えてこなかったであろう自分の進路を熟考して、それを実現するために今まで以上の努力を重ねて行く必要が有ります。「何となく」で「日々ダラダラと過ごしている」人は、まともな進路など望めません。「やろうとしない人は何も出来ない」のです。後期に入って心機一転！君の進路を実現するための1歩を踏み出しましょう！！

基礎航海学習

10月2日より10月14日まで4回に分けて基礎航海学習を行いました。船内生活に慣れる他、船に関する座学と、横浜に寄港した際に海上保安資料館を見学しました。

船内では旗の揚げ下げ、清掃、食事の準備と後片付け、海上の施設、操舵の仕方、海洋観測、船内の決まりごとについてなど、短期間にいろいろな説明を受けました。2次航海だけは風が強く、観測が出来ませんでした。おおむね天候に恵まれました。

見学では海上保安庁の職員の方が解説してくださり、北朝鮮の工作船が平成13年以前は頻繁に出没していたことや、取り締まりが難しかったことなど聞き、海上保安官の仕事の大変さを知ることが出来ました。



基礎航海を終えて

須藤 俊一

『何故この学校に来たのか?』ということ聞かれても「何となく。」としか答えられないでいた自分にも答えが見つかった気がします。正直なところ海という場所よりも、山というところの方が好きでした。小さい頃から山登りなどによく行っていたからです。しかし、今回の基礎航海を経験し、海や船の面白さをたくさん知ることができました。特に印象的なのは、やはり操舵です。船内全員の命を背負い握るハンドルにはもの凄い緊張がありました。それでも楽しく、船というものを実感することができました。改めて海の上も面白い所だと感じました。

乗船する前までは『当直になりたくない』と思っていました。しかし実際乗船し今では逆に副直・当直を体験できて良かったと思っています。2年次の航海に備えてということもありますが、それよりもチョッサーやキャプテンに会うことができたというのが大きい気がします。また、突然に操練の伝令をしたのは驚きました。

船に乗り改めて強く思ったことが幾つかあります。仲間と協力することの大切さ、その中に言葉を交わすことの必要性を学びました。陸で普段生活するよりも遥かに厳しい環境の船内生活で、協力し合い生き抜くためには些細なことでも確認し合うことこそが大切なことだと思いました。最初はできなかったことでも最後にはできるようになり、仲間との協力の結果だと思っています。

最後に、今回基礎航海学習を行うことができたのは指導教官及び大島丸の船員さん方のおかげであることを忘れません。来年、再来年とまた大島丸に乗る際、御指導して下さることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。

基礎航海を終えて

馬場 美穂

自分は、大島海洋国際高校に入学して、今回の基礎航海をととても楽しみにしていました。本来6日間のものを3日間に詰め込んで大変なこともあったけれど様々なことを学ぶことができました。

中学生の時、大島丸の体験乗船に行きました。あの時とは違い今回は、自分たちで行動し働き学び、乗船メンバーと協力していきました。たった3日間だけでも自分は成長できたと思います。自分は「絶対に吐かない」という目標を立てました。将来は外航海運をやりたいというのもあり、「このくらいじゃ絶対に吐かないぞ」という強い意志で乗船に挑みました。実際とても酔いやすく、吐いてしまうこともよくあるが、今回は強い意志のもと、一回も吐くことはなく3日間を終えました。ここで自分は、強い意志を持つことは大切なんだと思いました。

今回、個人の目標とは別に2次航海メンバーで「元気よく積極的に行動」という目標を立てました。自分はその目標を忘れずにラジオ体操、ランニング、棒ずりをやる時に大きい声を出して頑張りました。しかし自分たちで船を動かす操舵訓練では、緊張のせいで元気よくすることができませんでした。緊張のせいで終わったときは泣きそうになりました。自分には緊張に打ち勝つ力が大切なんだと判りました。

私の将来の夢は海技士になって外航海運をすることなので、これからも実習を頑張っていき、普段の勉強も頑張っていきたいです。

宿泊防災訓練

10月6日より1泊で宿泊防災訓練を実施しました。基礎航海2次のA組後半の諸君は参加できませんでした。

武道場の畳を外して下に敷かれているマットと畳を広げて避難所の設置を行いました。例年教室の床に毛布を敷いただけでしたが、畳・マットがあるため寝やすかったと思います。



災害が起こった場合、地域の人々が避難してくる前に設営する必要がある、いざという時にこの経験を役立ててもらえたらいいと思います。

非常食の喫食もしましたが、本当に災害があって高校生がいろいろ働くような場面があったら、量的に不足すると思いました。お年寄りの避難の手伝いや、荷物の運搬など周囲の状況を見るにつけ、いざという時に高校生の役割が大きいと感じます。

東日本大震災の南三陸町の映像も視聴しました。ニュース等では断片的に見たでしょうが、その時の状況を感じてもらいたく、地元のテレビ局が撮影したのを見てもらいました。大島も海に隣接しているので、今まで体験したことのない地震が起こったときにはしっかり対応してほしいものです。

第三回考査成績上位者番付

	横綱	大関		横綱	大関
国語総合(現代文)	B 前田	A 中條	生物基礎	A 須藤	A 藤田
国語総合(古典)	A 藤田 B 長濱	A 林	総合英語(G)	A 藤田	B 長濱
現代社会	A 林	B 林	総合英語(R)	B 前田	B 長濱
数学I	B 長濱 B 前田	A 山田	異文化理解	B 辻	A 須藤
数学A	B 小澤	B 前田			

2・3年次の類型選択について

前回の帰省の際にとった希望調査では海洋系の希望者が60名を超える状況でありました。海洋系希望の生徒諸君に、海洋系の授業についての話と、3分の1の生徒諸君が変更することになること、進路と考えあわせて決断してほしい旨話しました。今回、再調査を行いますので、親子で良く話していただき、決定してください。海洋系希望者が国際系に自主的に変更してくれることを望みます。

PTAレクリエーション

11月25日(土)トウシキにおいてバーベキューが行われます。生徒は全員参加です。

散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なり 人も人なり

【磯貝先生より】

明智光秀の娘にして細川忠興の妻、美しきキリシタン細川伽羅奢（ガラシャ）の辞世の句です。お市様が戦国一の美女ならば、ガラシャさんは戦国一の姉御肌です。更に、強いだけで無く見目も麗しかったらしく、忠興は妻に見とれた使用人を手打ちにする事が何度かあった様です。しかし、そこはガラシャの姉御、ただ見ているだけではありません。ある時は、手打ちになった使用人の返り血を浴びた着物を抗議の意味で数日間着続けたり、またある時は、落とされた首を驚掴み投げつけたりと、イケイケです。最後は、石田三成に人質になる様に迫られますが、これをきっぱりと拒絶。城から女子供を逃がし、自らは細川家の足枷にならない様に自害（キリシタンで自殺が出来なかったので、家臣に介錯してもらっています。）して果てました。結果、三成は人質作戦を中止し撤退しています。三国志の糜夫人を思い出させるエピソードですが、「散るべき時に散るから、花も人も美しい」と詠んだガラシャらしい潔い最後ですね。

細川ガラシャは、散るべき時に散りました。つまり「やるべき時に、やるべき事をやった」訳です。「やるべき時に、やるべき事をやった」からこそ、細川家を守り切ると言う「結果」を得ることが出来ました。命を絶つ事については今と昔で価値観が大きく異なりますので横に置いておくとして、目的を達成するためには「やるべき時に、やるべき事をやる」と言うのは今も昔も不変の理です。12期生の皆さんも「やるべき事」があるのならば、「やるべき時」を逸する事無く、全力を尽くして取り組んでください。

何で行くの？

【池田先生より】

以前セーフティ教室の講義の中で、LINEでやり取りをしていた高校生が、表題にある言葉が発端で問題を抱えるという映像を見ました。「いずれの交通機関を利用して」目的地へ行くのかを尋ねたところ、「なぜ」目的地へ行くのか（来なくていいのに・・・）と受け取られてしまったというものでした。

言葉のやり取りは時に誤解を生じます。顔も見ず、声も聞かずという状況の中では尚更です。今一度、tweetする時や何らかの情報をWeb上に投稿する際の危険を認識しましょう。私の希望を言えば、この様なものに一切手を触れず偏差値を「1」でも上げて欲しいとは思いますが（この表現も誤解の余地が満載ですが）。

とにかく、今まで以上の注意と慎重さを持って「情報化」された社会の中で生活することを望みます。

進路講演会

大島南高校の卒業生で株式会社 国際水産開発の渡辺樹里さんに来ていただき、海外青年協力隊の話をしていただきました。

渡辺さんは中学生の時に養殖をしたいと思って大島南高校に入学したそうです。高校2年の時にインターンシップで奄美大島のマグロの養殖に行ったり、大島丸の実習で沖縄の美ら海水族館や栽培漁業センターに行ったりしました。卒業後は鹿児島大学水産学部に進学しました。

大学でもタイの大学に留学して、現地のエビ養殖について研究したりしたそうです。そして海外青年協力隊に参加し、フィリピンのマヨヤオに派遣され、棚田でドジョウの養殖を普及する活動について講演していただきました。

高校では養殖業に熱血なイメージは感じず、鹿児島大学に進学したことに驚いたことを思い出しました。後日、マヨヤオを調べたら JAICA 50 周年の映画『クロスロード』主人公のモデルだったことが判りました。

講演の生徒の感想です。

菊田 幸希

話を聞いて、将来のことを早めに準備して実現していこうと思いました。そのためにはいろいろなことにチャレンジして行って、たくさんの経験をしていきたいです。

一人でフィリピンに行って、1からスタートして、”魚と稲と家畜の複合生産“をテーマに、養殖や役場を立て直したりして、水田ドジョウの養殖などにも成功して、「すごいなー」と思いました。また、協力することの大切さや今自分たちに足りないチャレンジ精神や積極性などを見つけることができたので良かったと思いました。

川口 サラ

話していただいた内容は、インターネットなどでいくら調べても学ぶことができないようなお話だったので聞いて良かったと思いました。

また、自分が将来やりたいと欲していることに対して「今から行動することが大切だ」ということも判りました。また、海外に行って、実際に行っていた水田養殖では、自分から動いて目的に向かっていくことで周りも協力し、最後までやり遂げるといふところがすごいと思いました。

淵上 拓真

今日の進路の話をして聞いて思ったことの一つ目は、養殖は資源を守ると欲していたが、そういうことはなく、むしろ自然に良くないと知った。意外だった。自分の好きなことを極めたいとか、よく知るには、大学からではなく高校から決めていた方が良かった。今日の進路の話をして聞いて進路は大事だなと思ったから、自分の進路をしっかり考えようと思った。



堀 徹人

好きなことややりたいことがあるということは良いことだと感じました。やりたい事や好きな事というのは勇気や知識に変えることが出来ると思ったからです。自分は将来のやりたいことなどが見つからず、この高校に入ったら何か見つかるのではと思ったのですが、もうすぐ一年たつのに未だにやりたいことが見つかりませんでした。

今回の出張講義で養殖の話や青年海外協力隊の話などを聞いて、「こういう道もあるのか」と自分の将来を見つめなおす機会が出来ました。今日はまだ自分のやりたい事や進んでいきたい事は見つかりませんが、これからは前より未来の事について見えてきそうな気がします。

大島地域安全の集い



大島の地域安全と住民のきずなづくり等を目的として、大島在住の学生に対して、作文の募集がありました。A組みから4名、B組から27名が応募しました。その結果、優秀作品として、中田航輝君が選ばれました。「大島地域安全の集い」で発表し、大島警察署より、表彰状と記念品をいただきました。

作文の全文です

大島町の良い所

中田 航輝

私が16年間を大島で生活してきた中で、良いと思う所は3つあります。

一つ目は景色が綺麗な事です。私の家の近くには山があり、家からは海も見えます。また、キジやキョン、多種多様な鳥や虫なども季節によって違う生き物を見ることができます。海に入れば色彩豊かな魚やサンゴを見ることができます。夜には東京などの都会ではあまり見る事の出来ない星空や天の川を見ることができますし、波浮港などでは夜になると街灯の明かりが水面に反射して別の世界にいるような気持ちになります。

二つ目は食べ物が美味しいことです。独特の臭いがするが、とても病みつきになる「くさや」や、栄養が豊富で粉にして牛乳に入れたり、天ぷらにすると美味しい「あしたば」、他にも梵天のたい焼きなども人気です。また、磯に行くと都心では高くてなかなか食べれない「イサキ」を釣ることができ、タダで食べることができます。

三つ目は、大島全体を観光資源にしていることです。カメラア馬拉ソンやウルトラマラソンなどを開催したり、島に咲く椿で椿園を開いたり、夏祭りや花火大会を毎年行っています。また、ジオツアーという三原山や筆島を巡るツアーもあるようです。

三つを大きく取り上げましたが、他にも地域の人の人情の厚さなど、いろいろあると思います。しかし、ゴミの不法投棄などによって、町の景観などが悪くなってしまいます。なので、地域全体でゴミを回収したりすることで景観を守りながら、地域の人達の仲をより深めることが出来ると思います。

また、大島だと犯罪があったなどとあまり聞かないので、安全については大丈夫だと思っています。これからも町の良い所を活かしてより良い大島にしてほしいです。

潜水部遠征報告

12月3日、千葉国際総合水泳場にて行われた第24回全日本室内スポーツ選手権大会に潜水部が出場しました。1年生は初めての大会であったので、戸惑うことも多かったと思いますが、みな自己ベスト更新を目指し頑張りました！ 今井さんが50mフリッパー高校生女子の部 3位となり表彰されました。水橋さんは50mフリッパー総合の部で4位入賞しました。



セーリング部遠征報告

平成 29 年 11 月 11 日（土）12 日（日）、山中湖村ヨットハーバーにて、平成 29 年度第 24 回関東高等学校選抜ヨット大会が行われました。FJ 級の部に本校からも 4 チームが出場し、男子の部で 16 チーム中 5 位で小池・中山ペアが入賞しました。

日本文化授業「御神火太鼓」

土曜日の日本文化の授業で大島町の御神火太鼓保存会の菊池会長より6回にわたって教えていただいています。7台の太鼓を使い、3班に分かれて練習しています。2月まで全部で6回授業があります。



第4回考査成績上位者番付

	横綱	大関		横綱	大関
国語総合(現代文)	B 前田	A 須藤	音楽	A 堺	A 須藤
国語総合(古典)	A 須藤	B 酒井	総合英語(R)	B 長濱	A 林
現代社会	A 林	A 須藤 B 江坂	総合英語(G)	B 菊田 B 下村 B 辻	A 岡 A 藤田 B 中島 A 須藤 B 田島 B 前田
数学 I	B 小澤	B 前田	異文化理解	B 辻	B 児玉 B 田島
数学 A	B 小澤	A 宮本 B 林	水産海洋基礎	A 須藤	B 小澤
生物基礎	B 安田	B 小澤			
総合	A 須藤	B 前田			

至誠にして動かざる者は、未だこれ有らざるなり

[磯貝先生より]

幕末の思想家にして革命家、松下村塾で教鞭を振るい明治維新の精神的支柱となった吉田松陰の言葉です（正確には「孟子」の言葉）。多くの志士に影響を与えた松陰先生ですが、当時としては相当ぶっ飛んだ人物だった様です。旅行のために脱藩したり、黒船に密航して投獄されたり、老中暗殺を仄めかせて再び投獄されたり、弟子の制止を無視して絶縁したり、暗殺計画を自ら暴露して三度投獄されたりと、中々のぶっ飛び具合です。弟子達に残した言葉が「諸君、狂いたまえ」だったと言うのだから徹底しています。こんな破天荒な人物に多くの偉人傑物が師事したのは、松陰先生が「本気だった」からでしょう。正に「至誠にして動かざる者は、未だこれ有らざるなり」だったわけです。誠意を尽くせば必ず人の心を動かすことが出来る。「本気で日本の将来を憂い行動した」からこそ、多くの人々が松陰先生を敬ったのでしょう。

勉強や進路、部活動、委員会活動、学校行事等、学生が本気で取り組めるものは様々ありますが、皆さんは日々どれだけ「本気」で活動していますか？何か本気で取り組んでいる人には自然と信頼が集まり、何かを成そうと行動する時に大きな力に成ります。日頃から何かとチャランポランな生活している者に、進んで力を貸してくれる人が居るのでしょうか？学生と言う今の立場なら、あるいは居るかも知れませんが、それに慣れて勘違いしない様に注意して下さい。1年生も残り3ヶ月ほどです。この3ヶ月間を皆さんがどの様に過ごすのか、楽しみにしています。

親になって気付いたこと

[池田先生より]

長男が生まれて早5年が過ぎました。子育ては想像以上に波乱万丈でした。特に困ったことが多いには辟易しました。例えば優先席。例えばエレベーター。私の極々主観的な見方ではありましたが、「本当に必要なの？」という方々がそれらを占拠していたものです。もちろん、私の偏った見方でもあるでしょう。ただ、その多くの場面で、若く健康そうに見える方々はスマホを操作していたのでした。

彼らを非難するつもりはありません。ただ私は思ったのです。私自身は他の人にこのような思いはさせまいと。以来優先席には座りません。以来エレベーターを使うときは後ろに子連れの方や高齢の方などが並んでいないか随時確認します。そしてスマホは触りません。なぜなら必要な判断力が奪われるから。

教員として、私に関わる生徒諸君にもやはり同様に他者への配慮を忘れてほしくないと思っています。他者への気配りを妨げるものはスマホだけではなく、まずは「歩きスマホ」をやめさせることからその足掛かりにしようと思ったのでした。

先日、自転車を運転中にスマホを操作していて高齢者を轢いてしまい、その高齢者がなくなるという事故がありました。一学年では没収されるスマホが少なくなってきました。社会はますます混沌としてきていますが、一学年は秩序を取り戻しつつあるように見えます。みなさん、良いお年をお迎えください。

盗難について

第一学年生活指導担当

残念ながら、年明けから現金の盗難が頻発しています。被害総額は2万円を超えています。また、明らかになっていないものを含めるとこれを大きく上回ることは容易に想像できます。学校側としてはもちろん盗難は「しない・させない」という指導を繰り返し行い徹底してはいるものの、いったんことが起こってしまうとできることに限りがあるのが実情です。ですから今後、予防の面に対する配慮も強めていきます。

具体的には不必要な現金は持ち歩かないことを徹底してください。居室にも置かないようにしてください。学校であれば担任に、ドミトリであればハウスマスターに預けることができます。もちろん預ける際・受け取る際に多少の手間がかかることは否めませんが、手間と盗難の危機を天秤にかけるとしたら、どちらを選ぶかは明白でしょう。

最後に、盗難は犯罪です。しかも学校生活・ドミトリ生活の安心・安全を大きく損なうものですので、もししてしまったことが明らかになれば、指導上、学校に継続して籍を置かせることはできません。くれぐれも留意してください。

進路について

ようやく2年次の海洋系か国際系が決まったばかりなのにとする人もいますが、進路についてしっかり考え始めてください。ありとあらゆる分野があります。それぞれに大学や専門学校があります。入試の科目や入試方法もいろいろありますので、1年のうちに進路を確定して、2年次から準備するようになってほしいと思います。

先輩の例をいくつか紹介します。

①親の職業の影響で、中学生のころから海上保安官になりたと思って本校に入学した女子の場合です。2年次の乗船で一番船酔いしたということで福祉系に進学することになりました。文系になるので海洋系から進学は難しく、一浪しました。

②柔道の経験から柔道整復師を目指した女子の場合です。大学も専門学校も見学に行きました。大学では実技の時に一人の先生が多くの生徒の前で見本を見せ、後ろの方の人はテレビ画面越しに見る状態でした。専門学校では、少数の生徒に、小さい部屋で丁寧に教えてくれました。技術を身につけなければならない分野では、専門学校が良いと感じました。

③コンピューターゲームを作ることにあこがれていた男子の場合です。そういう分野は専門学校としか考えていなかったのも、専門学校を1年の時から見学に行ったりしていました。ふとしたことで大学にも関連した分野を学べることを知りました。そして、大学受験は考えていなかったのを2年の後半から大学受験を目指すようになりました。ちょっと遅かったことに加え、地方の大学にコンピューターの専門の大学がある事を3年の終盤に知り、センター試験が終わってから見学に行きました。都内の大学しか考えていなかったのですが、地方に素晴らしい大学がある事までは、調べきれなかった例です。

自分の将来つきたい職業を考え、そのための勉強をするにはどこが良いかしっかり考えて探して欲しいと思います。そのための相談にも乗りますので、先延ばしにせず、い

ろいろ考え続けてください。先日、進路について調査を実施しました。今回の個別面談では、そのことを踏まえて話をします。

希望が変わることも良いです。しっかり悩んで最良の進路を決めてください。

潜水部報告



1月13日に日本水中スポーツ連盟主催の第14回関東オープンフィンスイミング大会(短水路)が千葉国際水泳場で行われ、潜水部が出場しました。その中で25mJビーフィンにおいて、総合の部で男子は小澤涼雅君、女子は下村和美さんがそれぞれ3位となり表彰されました。

小澤君の感想を掲載します。

1年B組6番 小澤 涼雅
フィン競技はこの学校に入学してから始めました。最初は練習についていけなかったり、何をすれば良いのか分からず迷ったりしましたが、

練習をしていくうちに目標を立て仲間と努力するようになり少しずつタイムが伸び始めました。

今回の大会は今までで一番の泳ぎが出来ましたが、早い人の泳ぎを見て学べたのでそれを身につけ、今よりも早くなれるように練習していきます。また、あと少しで2年生になり後輩が入ってくるので今の先輩を見習ってできることを増やし教えられるようにしていきたいと思います。

マラソン大会



2月11日カメラアマラソンに1,2年生は全員参加し、校内マラソン大会としています。役場前をスタート・ゴールとし、女子は郷土資料館入口を折り返す5キロ、男子は岡田港に近い健康センター前を折り返す10キロです。行きは登りの感じですので、意識して通ってください。

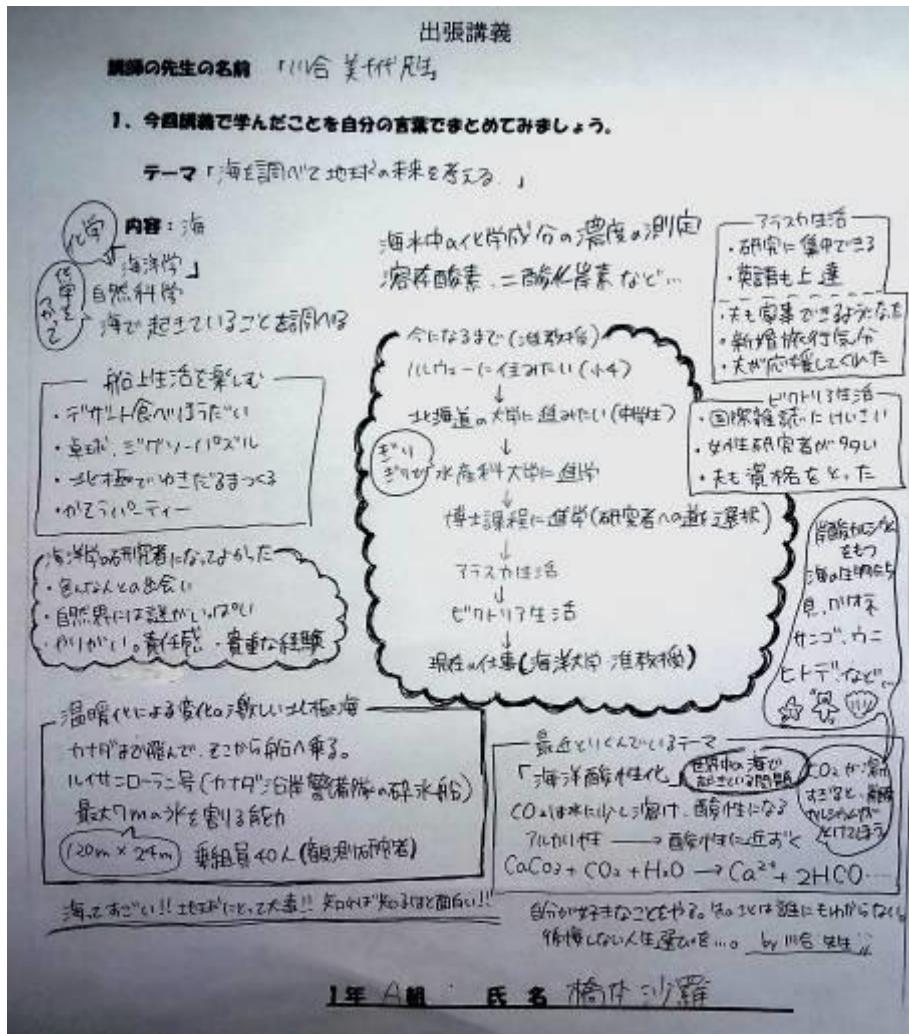
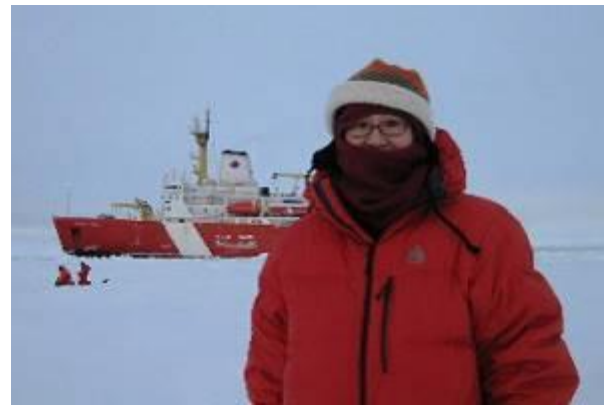
また、多くの人があるので、上位入賞するためには、スタートの時にできるだけ前の位置を確保しなければなりません。早めに準備してください。保護者の方も応援よろしくお願ひします。

1月22日 高大連携に係る第1回出張講義

(写真は東京海洋大学ホームページより)

東京水産大学 川合 美千代准教授に1年生が講義していただきました。

御自身の進路に対する考えと現実、今までの人生と研究について判り易くお話ししていただきました。講義を聞いての中條君の感想と、講義中の橋本沙羅さんのメモを掲載します。



1年A組 中條祐介

自分は川合さんの仕事はすごくカッコイイと思いました。自分は別に化学をやりたいわけではなかったのですが、最後に話された「どんどん生物が減っていくかもしれない」というのがすごいと思いました。2060年には貝などの生物が生息できなくなるのは困るので早く解決法が見つかってほしいと思いました。

海でサンプルをとり、海水を調べたい内容によって容器を変えるとおっしゃっていたので、こういった容器でどう

いったことを調べるのかを自分は気になりました。

留学生活終了

9月より留学していたセレスティティッツさんが1月18日に留学のまとめの発表をしました。3年生寺本さんが送辞を述べ、中嶋君、宮本さんが記念品を贈呈しました。

ホストファミリーの御家族も駆けつけてくださいました。



小麦粉の気持ちになってみた

[池田先生より]

一人静かに物思いに耽ること、ありますか。スマホに手を伸ばしてはいませんか。私はよく一人静かに、とるに足らないことではあるけれど、色々な事柄に関して思索を巡らすことがよくあります。先日は小麦粉のことを考えました。

その日の我が家の夕飯は天婦羅でした。洗い物は私の仕事ですので片付けようとしたところ、シンクの隅に天かすがまとめてありました。その時ハッとしたものです。小麦粉は、刈られ、磨り潰され、水と一緒に揉まれ、揚げられ(180℃で!!)、挙句、「カス」呼ばわりされているのです。あんまりと言えばあんまりではありませんか。そんな小麦を仇や疎かにしてはなりません。全て食べました。胃がもたれたのは言うまでもありません。

食べ物はもともと全て生きていたものです。それらを我々の生命維持のためにわざわざ命を奪って供されるものです。ならば、それらを残さず食べて、それらの分まで立派に生きようと誓うのが道理ではないでしょうか。命の責任ではないでしょうか。好みに合わない、お腹一杯、まずい、臭い・・・かろうが、すべて食すのが道義ではないでしょうか。

「吾輩の辞書に残飯という文字はない」というのが私の座右の銘ですが、スマホ依存からようやく離れかかっている今、今度は命の責任を考えてみませんか。

最後にパン粉を紹介します。パン粉も小麦ですが、彼らは刈られ、挽かれ、焼かれ、粉々にされ、卵と一緒にグチャモチャにされ、揚げられて(180℃の灼熱地獄!!)トンカツになります。アジフライになります。エビフライにもなります。そうしてしまった責任は完食して償いましょう。贖いましょう。他者の命に責任を負うことで、自らの命に対する気概も育つというものです。

やってみせ、言ってみせて、させてみせ、褒めてやらねば人は動かず。

[磯貝先生より]

誰よりも戦争に反対だった軍人、山本五十六連合艦隊司令長官の言葉です。軽巡洋艦五十鈴、航空母艦赤木の艦長を歴任し、司令長官として戦艦大和にも乗艦した程の人物ですが、三国同盟が成立した時には「何としても戦争だけは避けるべきだ」と主張した稀有な軍人さんです。

今回紹介した言葉は本来この後に「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず。」と続きます。表題に使ったのは前半部分だけですが、実はこの言葉、私が生徒だった時に「上級生の心構え」として拓水寮で伝えられていたものです。

上級生になると当然ながら下級生が出来る訳ですが、先輩になった事で「自分が偉くなった」と勘違いする残念な人が毎年発生します。すると残念な人々は、それまで出来ていた事・やっていた事を放棄して、好き勝手にチャランポランな生活をして、後輩に対しては偉そうな態度を取りだします。面白い事に、先輩の愚痴を零している人程、自分が上級生になると同じ様なダメ先輩になっている気がします。

12期生も後3ヶ月程で進級し、様々な場面で後輩を指導して行く立場に成ります。山本五十六さんの言葉を今一度読んで、上級生になる心構えを持ってください。

マラソン大会について

2月11日（日曜日）、大島町のカメラアマラソンがあり、学校のマラソン大会として1，2年生は全員参加しました。

カメラアマラソン「一般女子の部」でB組の長濱ひらりさんが3位となり表彰されました。



男子の部で1位となった中田君は全体で4位となりました。町の開会式で選手宣誓したりと大活躍でした。池田先生は30歳代の部で1位となり表彰されました。A組の授業でも一緒に走って生徒諸君に差を見せつけたそうです。

しかし、それが刺激となってかクラス毎の平均タイムで1Aが1位となりました。



初めて一年生の教室に来ます



上位入賞するためにはスタートの段階で前の方に居なくては大変です。来年はぜひ考慮に入れて更なる記録更新をしてください。

保護者の皆様も多くの方がエントリーしたり、応援に来てくださりありがとうございました。学校が大会を盛り上げていると町の方々からも評判になっています。今後ともよろしくお願ひします。なお、エントリーの際は「海洋国際高校保護者」としていただけると幸いです。

カメラアマゾン学年番付

横綱	中田 航輝	B	長濱 ひらり	B
大関	堺 颯太	A	宮本 奈々花	A
関脇	山田 宙飛	A	岡 結菜	A
小结	辻 乙碧	B	下村 和美	B
前頭	須藤 駿一	A	菊田 幸希	B
々	安田 隼人	B	江坂 和歌	B
々	清水村 健人	A	馬場 美穂	A
々	中島 健太	B	川口 サラ	A
々	瀧口 信一郎	B	橋本 沙羅	A
々	辻 隆翔	A	水橋 桃子	B

日本文化授業



伝統芸能の習得を目的として、大島の和太鼓の御神火太鼓を6週にわたり教わりました。一番最初の基礎の部分「揃い打ち」でしたが、最終的に合わせる事が出来ました。昨年までは波浮港の地踊りか太鼓を選択できたのですが、今年から全員で太鼓を行いました。最後に10台の太鼓を並べて相互のクラスに披露しました。

卒業式について

3月3日午前中に会場設営・卒業式の予行練習があります。その中で、各種の表彰式があります。3年生はその後、保護者・担任との昼食会、大島丸でのお別れ会があります。翌4日は卒業式です。厳粛な式典です。午後は出帆港まで行き、大型船で見送ります。船の出港まで部活動単位で別れを惜しみ、出港時には紙テープで見送ります。調子に乗って桟橋から飛び込んだりしないようにしてください。スクリューウが出ていて大変危険であり、翌年から見送りが出来なくなります。

東京に到着時には、保護者や過去に卒業した先輩達が出迎えてくれます。保護者の皆様はよろしかったら竹芝桟橋で卒業生を迎えていただけたら幸いです。校歌斉唱の後、制帽を投げあげます。

第5回考査

	3月6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)
1限	数学A	海洋情報技術	国語総合(古典)	現代社会
2限	国語総合(現代文)	生物基礎	水産海洋基礎	数学I
3限	異文化理解	総合英語R	総合英語G	保健

卒業式終了後、振替休業の翌日から考査となります。全体を見て準備をしてください。評定をそれぞれ1つ上げるように努力して欲しいものです。大学受験の際に有利になること間違いありません。

潜水部活動

コーチの先生の指導を受けフィンスイミングの練習をしていました。元町の第一中学校のプールは温かくなっており、非常にうらやましい環境です。3月11日にも大会があるようです。頑張ってください。



孤軍援絶えて浮囚と作る
顧て君恩を念えば涙更に流る
一片の丹表能く節に殉ず
睢陽千古これ吾が儔
他に靡き今日復何をか言わん
義を取り生を捨つるは吾が尊ぶ所
快く受けん電光三尺の剣
只将に一死をもつて君恩に報いん

近藤 勇 昌宜

武士よりも武士らしくあろうとした農民、新撰組局長近藤昌宜（勇）の言葉です。坂本竜馬暗殺の嫌疑で処刑された時の言葉ですが、これを読むだけでも、どれ程の覚悟で「武士以上の武士」を志していたかが解ります。

農家の三男として生まれた勝五郎は誰よりも剣の修行に励み、才能と人格を認められ近藤家の養子になります。農民から武士になり名を近藤昌宜に改め、新撰組局長そして幕臣にまで上り詰めました。ユーモアもあった様で、農民出身である事を「井の中の蛙大海を知らず」と揶揄された時、「井の中の蛙大海を知らず、されど空の青さを知る」と切り返したそうです。

当時の世相を考えると、険し過ぎる道だった事は想像に難くありません。武士に成りたいと言う一心で、長く語り継がれる一角の人物になりました（※この度目出度く教科書から削除されましたが）。12期生の皆さんも、そろそろ将来や進路の事を真剣に考えている頃だと思えます。目標が出来ればそれに向かって努力が出来ます。努力をしていれば必ずその努力を实らせてあげようと手を差し伸べてくれる人が居ます。農民から武士になった近藤勇の様に、夢を叶えるための努力を惜しまないで下さい。

[磯貝先生より]

祝全員進級！

一人も辞めず留年しなかった1年は初めてです。

卒業式

3月4日に78名の卒業生が巣立ちました。2年後同じように卒業しましょう。笑顔で後輩に胸を張って卒業するためには、これからの生活をしっかりすることが大切です。



海洋技術短期大学校

本校から海洋技術短期大学校に進学する生徒は毎年1割くらいいます。国立なので経済的には進学しやすい面がありますが、船員になるための学校です。本当に船員になりたい人が行くのでしっかり勉強してくれていると信じています。

船の会社は大きく分けて2つに分けられるようです。給料の良い会社に入ると、3年で家が建つと聞いたことがあります。いい会社に入るためには、上級の資格をしっかりと取って、技術も向上させることが大切です。海技短大を卒業すれば良いというものではありません。海技士3級の筆記試験に合格する必要があります。以前の卒業生で、進学して早いうちに3級海技士（航海）の筆記に合格した人がいました。卒業前の夏から同級生はどんどん就職が決まっていくのに、海技短大の先生からは待っているとわれ焦ってしまったそうです。最後の方で提示された会社は大手の自動車運搬船でした。給料を聞いたら、手当等も含めてかなりの高額でした。3年で家が建つということが納得できました。

先日、1年生対象の学校見学会があり、4名が参加しました。参加した感想文です。

「海技短大の説明会に参加して」 冷川 竜暉

2月24日に、国立清水海上技術短期大学校の高校1年生限定の学校説明会が開かれ、それに参加しました。学校に着き受付を済ますと、『船員という職業』『学校の就職』『受験』のことなどをスライドで説明していただきました。そして校内見学では在学中の1年生の方が施設の説明をしてくださいました。年齢が近い方だったので、質問などがしやすく良かったです。高校1年のうちから見学することが出来て良い経験になりました。他の学校見学も行ってみたいと思いました。



小論文模試

2月19日のLHRの時間に表現サポート論述テストを実施しました。大学のAO・推薦入試や志望理由書などに必要となってくるものです。日頃からの心がけが大切です。繰り返しいかに練習するかが上達のポイントです。授業ではありませんので、率先して先生方に見ていただくようにしましょう。

今回の課題は『あなたの将来の夢とその理由は何ですか。あなたはその夢に向けてどう行動していきますか。』です。採点されて返ってきたなかで、成績優秀なB組菊田さんのものを掲載します。

菊田 幸希

私は海がとても好きなので、将来は海洋環境に関する仕事に就きたいと考えている。きっかけは、学校内で行われた講演会で、東京海洋大学の先生の話聞いたことだ。

私は、小さい頃から海と触れ合ってきて、海が好きになった。海洋生物、海洋資源など、ある特定の分野が好きという訳ではなく海自体が好きだった。だが、東京海洋大学の先生の話聞いて、今自分が知りたいことは何なのかを知ることができた。それが海洋環境だ。今、地球の7割を占める海では様々な問題が起こっている。私はその問題について沢山の事を知り、改善策を見つけて少しでも改善していきたいと考えている。

そのためには、学校の授業の海洋系と理数系の教科を中心に沢山勉強し、自ら進んで様々なことに取り組みたい。そして、海洋環境を学べる大学に進学しようと考えている。

海洋環境に関する仕事に就き、これからの海を良くしていくことが私の将来の夢である。

防災講演会

3月12日に気象庁の方をお迎えして防災講演会が開かれました。火山の講話の後、波浮港でカッターに乗艇しているときに津波が来たらどうするかという題で、生徒同士で討論し、発表しました。津波が来ることが判ったら、着岸し高い場所へ避難するというのか一般的な考えでしょう。どのような流れになるか判りませんが、状況によっては波浮港の真ん中あたりに留まって、上陸できる時期を見極める場合もあるでしょうし、沖に漕ぎ出すということもあるかもしれません。しかし、沖に出たら流れが速かったり、戻るのに時間がかかったりということになるので、食料・飲料水がある事が条件になるでしょう。

カッターに乗っていてもじっとしていれば地震の発生は感じます。できるだけ早く、対応しましょう。陸では、想像を絶するような地震があったら、「三中グランドへ」避難することを忘れないでください。

首都大学東京特別講演会

3月13日首都大学東京の先生・学生さんに来校いただき、講演していただきました。「判らいことを判るようにすることが大学生の使命だ。」「勉強も仕事も、楽しいと思えることが良い。」「理学は数学や理科そのものを研究する。工学は理科・数学を組み合わせたものを研究する。」ということが印象的でした。一年生でもゼミがあるとのことで、卒業生がずいぶん変わったなと感じました。

音楽発表会

3月14日音楽の授業の一環で各自が練習してきた楽曲を演奏して学年全体に披露しました。独唱やギター、フルート、ハンドベルなど、個性豊かな発表がありました。



卒業生講演会

3月16日に9期生9名に来てもらって講演会が開かれました。進学・就職・浪人の経験を話してくれました。海国での生活自体が貴重な事であるので日々充実して過ごすように、自信がない人もいるだろうが、何事にもチャレンジして、後悔しないようにとメッセージがありました。

離任者 お世話になった先生方ですが、4月から異動されます。

国語科 木須先生 英語科 木村先生 英語科 鈴木先生 養護 吉本先生
 ハウスマスター 山田先生・野木先生 地歴科 山田先生 音楽科 板野先生
 スクールカウンセラー 宮沢先生

春休みの過ごし方

- ①将来の進路をしっかりと考えてください、決まっている人もそれでよいか一度振り返ってみてください。
- ②大きな本屋に行ってみてください。いろいろな参考書があります。各教科はもちろん、資格取得や志望理由書の書き方など、本当に君たちのためになるものなら、保護者の方は買ってくれますよ。しっかり見て、相談してみてください。
- ③SNSに注意しましょう。昨年トラブルもありました。新入生と安易に情報のやり取りなどをしないように。

第5回考査並びに学年評定上位者番付

	横綱	大関	関脇		横綱	大関	関脇
現代文	前田弦己	岡結菜 江坂和歌	棚瀬愉与	総合英語 (G)	藤田開	宮野晴輝	岡結菜 田島雅人 前田弦己
古典	前田弦己	須藤駿一	岡結菜				
現代社会	須藤駿一 前田弦己	安田隼人	江坂和歌	総合英語 (R)	前田弦己	中田航輝	中嶋夏一 児玉蓮
数学I	菊田幸希 中島健太	山田宙飛	中條祐介	異文化理解	辻乙碧	前田弦己	中嶋夏一 原島翔大
数学A	小澤涼雅	藤田開	岡結菜	海洋情報技術	前田弦己	岡結菜	瀧口信一郎
生物基礎	安田隼人	小澤涼雅	岡結菜 須藤駿一	水産海洋基礎	前田弦己	辻乙碧	児玉蓮 棚瀬愉与
評定	須藤駿一 前田弦己	藤田開 岡結菜 長濱ひらり	瀧口信一郎 安田隼人 辻乙碧	素点平均	前田弦己	岡結菜	須藤駿一

偽りても賢を学ばんを賢といふべし

[磯貝先生より]

徒然草を知っていますか？「つれづれなるままに・・・」で始まるあれです。全244段からなる、吉田兼好さんによる鎌倉時代末期の随筆です。表題の言葉は、第85段から引用したものです。85段の全文を書くスペースはありませんが、簡単に言うと「こんな人間は愚か者で、こんな人間は賢い人である」と言う事が書かれている段です。

兼好さんは、この段で「賢い人を見て羨むのは普通の事だけれども、愚かな人は賢い人を見ると、その人を憎んで批判し嘲笑する」と書いています。更に、「狂人の真似とて大路を走らば、則ち狂人なり。悪人の真似とて人を殺さば、悪人なり」とも記されています。要は「愚か者の真似をすれば、それはもう愚か者なんですよ」と言っています。700年前の言葉とは思えない程、身につまされる言葉ですね。では、兼好さんの言う賢い人とはどんな人なんでしょうか？それが「偽りても賢を学ばんを賢といふべし」です。仮に嫌々であったとしても、賢い人から学ぼうとする人・賢い人を真似ようとする人は、それはもう「賢い人」である、という事です。

12期生の皆さんも、とうとう2年生（上級生）に成ります。3年生は進路活動がメインになって来ますので、学校やドミトリでは中心的な役割を果たしていく事になるでしょう。自身が「賢い人」になる事もそうですが、是非とも、新入生が学ぶに値する「賢い人」に成って下さい。

石の上にも三年、面壁九年・・・

[池田明容先生より]

初めてカメラアマラソンを走ったのは十年前、2008年のことでした。記録は48分台で総合順位が108位でした。そこから、どうせ走るならもっと速く走ろう、何かもらえらるならもらいたいと、十回に渡り参加してきました。そして先日念願叶って初めての一等賞によりやく手が届きました。賞状・トロフィー、副賞でおやつ等もいただきました。

といってもあくまでも年代別であるので次は総合1位を目指して頑張ります。この先何年かかるかわかりません。そもそも達成可能かさえもわかりません。ただ、無理と決めては何も始まらないので、できるかできないかはわからないけれど「やる」と決めて精進していきます。

皆さんもそれぞれの目標に向かい邁進してください

「できるかできないか」を考えても詮無いことです。「やる」と決めて取り組みましょう。ダルマさんも石の壁に九年間向かい合って悟りを開いたそうです。私は十年かけて一等賞を取りました。

最後に、生活指導担当としてこの一年を振り返ってみますと、色々と苦労もありましたが、「歩きスマホ」が目に見えて改善されたのが最大の成果でした。無為に時間を過ごすことが減り、それが皆さんの成長に繋がると嬉しく思います。

2010年	40分28秒	年代別2位	
2011年	38分46秒	年代別5位	総合14位
2012年	37分33秒	年代別2位	総合9位
2013年	39分05秒	年代別4位	総合19位
2014年	39分23秒		
2015年	38分31秒	年代別4位	
2016年	39分21秒	年代別9位	総合21位
2017年	39分11秒	年代別9位	
2018年	37分39秒	年代別1位	総合6位